

つきたい力

- ・自ら考える思考力
- ・人を大切にする考察力
- ・伝え合うコミュニケーション能力

取組みの概要・ポイント

- ・読書好きな子を育てる図書館づくり
- ・行けば学べる楽しさのある掲示物、本と連携した企画の運営
- ・調べ学習におけるタブレットも併用した図書館の活用、

学校図書館を活用した学力向上の取組みについて、詳しくはこちら



具体的な取組みの内容 学校図書館を活用した授業づくり

低学年 調べ学習との出会い



国語科「どうやってみまもるのかな」説明文で学んだことを図書館資料を用いてまとめた。

学校図書館資料を授業で活用

- ・学習したことを広げ、次は自分で調べたいものを選び、学校司書と協力して本を選んだ。
- ・選んだ本からキーワードを抜き出し、ワークシートにまとめた。
- ・その後、ワークシートをもとにしたクイズを作成し、互いに交流した。

中学年 タブレットとの併用



総合的な学習「本の宣伝係になろう」社会で学んだ工夫を本の宣伝に生かしました。

総合的な学習や社会科の発展学習

- ・社会で学習した「お店の宣伝の工夫」のポイントをもとに、おすすめの本を紹介する活動を行った。
- ・本を熟読し、おすすめのポイントなどをタブレットでまとめ、発表した。
- ・学習の後、図書館前にも掲示した。

高学年 人と関わる。発信する。



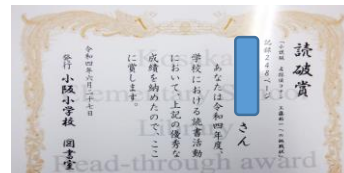
社会科「明治の新しい国づくり」歴史人物について担当を決め、伝え合いました。

本とタブレットを併用した調べ学習

- ・社会「明治の新しい国づくり」の学習では、幕末の動乱期に活躍した人物を一人ずつ担当を決め、図書館資料やタブレットを併用して調べ、まとめたことを互いに発表をした。発表後、どの人物が最も明治維新に影響を与えたかを互いに交流した。

具体的な取組みの内容 本に親しむ場づくり

長文読破「読破賞」



長文小説読破者を表彰

- ・100ページを超える長文小説を読み終えた児童を「読破賞」として表彰する。
- ・受賞者の賞状を図書館前に掲示することで意欲向上を図った。
- ・長文小説を読破し読書感想文を書いた児童には、「レジェンド読破賞」を用意し表彰することで読書感想文を書くことに目的意識を持たせた。

掲示物と本の連携



教科書の作者・筆者

- ・教科書に出てくる作者や筆者など、普段なじみのない人物などを写真を添えて掲示する。
- ・星座クイズや読めばわかるクイズの作成をする。雨の名前などの季節の掲示を本と関連付けて掲示する。問題文を各教室に掲示し、答えを図書館の中などに掲示することで、児童が意欲的に調べることができるよう工夫した。

本と連携した企画



工作の本を用いて工作教室

- ・図書館の資料を活用したお楽しみ企画を実施。工作の本から工作教室、算数の本からタングラム、図鑑の付録のDVDから鑑賞会を企画した。また、韓国・朝鮮の本と学校行事と関連付けながらハングルしおりを作成する活動を行った。
- ・朝の読書の時間では、ひがしおおさかし電子図書館と本を併用した読書活動を実施した。

取組みを通しての子どもの変容

- ・調べ学習にタブレット、本の両方を用いるようになった。(アンケート結果、7月43%→12月53%)
- ・児童の多くが、本を読むことが好きである。(アンケート結果7月、12月ともに80%超)

学校図書館や教室で本を読む児童の姿がよく見られるようになった。また、学校図書館の来館者数は増加し、自主的に他学年に読み聞かせを行うなど、児童の変容も見られた。自主的、自発的な学習活動や委員会活動等で調べ学習を実施する際に、「(調べたい図書館資料は、)どこに置いていますか。」といった質問をする児童が増えた。